

URBAN-REPORT

<https://www.urbankk.co.jp>

発行人 アーバン企画開発グループ 三戸部 啓之

地域との交流と感謝

「ありがとう」と言われると、誰もがうれしくなるものですね。人間関係をより良くするためにも、日ごろ感じている感謝の気持ちを言葉やカタチであらためて表してみることに、どんないいコトがあるのか? いくつかあげてみました。



○人間関係が円滑になる

心のこもった感謝を伝えられて、気分を悪くする人はまずいないでしょう。周囲の人に感謝の気持ちを表すことで、職場や学校、家族や友人間の人間関係が円滑になります。さらに、心理学で「好意の返報性」とも言われるように、感謝された方も好感を持ってくれるようになり、人間関係の良い循環ができあがります。

○健康に良い影響がある

ある調査によると、感謝の気持ちやポジティブな感情が多く幸福感を持っている人は、そうでない人に比べて約9年長生きするそうです。感謝やポジティブな感情が多いと、免疫力が高まり、血圧が安定したりと健康にも良い影響を与えるとされています。

○幸福感もアップ

感謝の気持ちを持つことで、ストレスへの耐性が強くなり、鬱になったりネガティブになってふさぎ込んだりということ避けられます。なにか悲しい経験をした時でも、ネガティブな感情に飲み込まれるのではなく、今ある小さな幸せに目を向けられるようにすることで、ただなんとなく生きていると見過ごしてしまう幸せを再確認できるようになり、幸福感がアップするそうです。



サンクスカード

弊社では、そんな感謝の気持ちを社員同士、カタチにして伝えてみようということで始まった『サンクスカード』を数年前より実施しています。業務中の些細なことなどでも、その時の感謝の気持ちを、オリジナルカードに載せて伝えたい相手へ送る。送る

時にはちょっとひと手間ありますが、届いたカードはやはり嬉しいものです。

そして、入居者様へ日頃の感謝を込めて始まったイベントが「アーバンフェスタ」です。



2019年 アーバンフェスタ



2019年 アーバンフェスタ

2019年に開催された第一回目では、社員一同でお祭さながらに出店をし、飲食店の他ヨーヨーすくいや、くじ引きなどを通して入居者様や地域の方々との交流を持つことができました。

会場ではオーナー様の畑で収穫された採れたて野菜も販売し、こちらもたいへん喜ばれました。

2回目の開催以降、コロナの影響で実際に人を集めるイベントの開催が難しくなりましたが、形を変えて多くの方々に喜んで頂けるようなイベントにするべく、ホームページを利用したウェブでの開催となりました。

対面ではないことで不安はありましたが、新春大抽選会と題して開催したウェブ上のイベントは沢山の入居者様からの応募を頂き、当選した賞品をお渡しするときには、笑顔で「ありがとうございます」と受け取ってくださる姿に、こちらも嬉しくなりました。



また、当社のSDGsの目標の1つである「パートナーシップで目標を達成しよう」にも挙げているように、地域への貢献として川崎市内の全小学校へ向けた教育機関紙の取材に参加いたしました。その後、川崎市内の中学校より早速、職業体験への協力要請があり、弊社の新百合ヶ丘店にて3名の中学生に不動産のお仕事を体験していただきました。



2022年 アーバンフェスタ



出典：『小学生のためのお仕事ノート
・2023年度版』

スタッフ用のポロシャツを着て初めて向き合うであろうお部屋探しや管理に関するお仕事、緊張しながらもスタッフからレクチャーを受けている姿は微笑ましくもありました。

弊社ではオーナー様への感謝を込めたイベントとして日帰りバスツアーやゴルフコンペ等も開催しています。今後も楽しみにして下さる入居者様・オーナー様、そして地域の方々に向けたイベント等の取り組みを考え、地元に根ざした企業として地域に心を寄せながら、様々な形で感謝の気持ちを伝えていければと思います。



中学生 職業体験 (2023年7月)

総務人事部 原田純子